

Rotary International District 2820

下館ロータリークラブ会報



人類に
奉仕する
ロータリー

発行日：平成 28 年 10 月 12 日

第 02416 号

2016-17
ジョン F. ジャーム RI 会長



▲ 母子島遊水地に生息する生きもの (左上からアゲハチョウ、シジミチョウ、セセリチョウ、チョウトンボ、ツマグロヒョウモン♀、モンシロチョウ、アオイトトンボ、ベニモンアゲハ、キタキチョウ、ツマグロヒョウモン♂、ハグロトンボ、ツグミ、ベニシジミ、アカトンボ、ノコギリクワガタ、オオバン、シオカラトンボ、モンキチョウ、ヤマトシジミ、ヒヨドリ)

本日のプログラム

外部卓話

トゥールムハメット 氏

次週のプログラム

外部卓話「蕎麦の話」

笠原 眞一 氏



会長 / 早瀬浩一
会報・広報委員会

副会長 / 鈴木光則
委員長 / 武井宏樹

幹事 / 神山芳子
副委員長 / 中里泰久

会長エレクト / 永盛 武
委員 / 佐藤 昭 黒澤昌之

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール(〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)
ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第2761回 2016/10/5(水)

会長挨拶

早瀬浩一 会長

皆さん、こんにちは。やっと涼しくなりほっとしていましたが、昨日は、30度を超える暑い1日でした。会員お皆様も体調管理を十分にいただき元気に、例会に来ておいしい食事を頂きましょう。

今日は、日向野さんが半年ぶりに理事会、例会に出席しました。居るべき人がやっという例会となりました。無理をなさらずこれからも体と相談しながらロータリー活動に参加よろしく、お願い致します。

さて、10月3日の月曜日、毎年恒例の「赤い羽根の募金活動」が筑西市内の各駅で行われました。参加された11名の皆様、大変お疲れ様でした。今回は、6時50分に集合、8時30分迄のいつもより長く行われました。須藤筑西市長をはじめ各団体の方々も大勢参加されました。いつも、募金活動で募金して頂く方には、感謝の気持ちでいっぱいですが、とりわけ今回、駅に用もない方が、「たまたま駅で街頭募金をしているのを見かけましたので募金します。」と言われ遠くに車を止めてあったにもかかわらず作業服姿で100円募金していただきました。心がほんとうに「あったかい」気持ちになりました。また、「街頭募金宜しくお祈いします。」という鈴木健一会員の大きな声、馬場会員の積極的な声かけには、頭が下がる思いでした。参加できなかった会員の皆様も来年は、ぜひ参加してください。よろしくお祈い致します。



また、今日は、皆様から戴いた会員満足度アンケートの集計結果をご報告いたします。クラブの今後を考える良い機会だと思います。よろしく、お祈い致します。

理事会報告

堀江 勤 副幹事

1. ガバナー公式訪問について承認
2. 11月のプログラムの件承認
3. 7RC親善ゴルフ大会参加について承認
4. 現況報告書の内容の件承認
5. 次年度幹事の件承認

幹事報告

堀江 勤 副幹事

1. 下館ローターアクトから8月及び9月の活動報告書を受理
2. 「rotarian」・「下妻RC週報」を受理

親睦活動委員会からのお知らせ

潮田 武彦 委員長

来月7RCゴルフ大会が開催されます。参加希望の方は委員会迄お知らせ下さい。

日 時：11月18日(金) 7時30分集合

場 所：筑波学園GC 参加費：5,000円

研究会報告

堀江勤 青少年奉仕委員長

青少年奉仕委員会が、7月16日(土)水戸三の丸ホテルで行われました。

まず、白戸ガバナー、保延ガバナーエレクトのご挨拶があり、続いて稲本総括委員長のご挨拶、趣旨説明のあと、「インターアクト委員会」「ローターアクト委員会」「ライラ委員会」および「青少年交換委員会」より活動内容及び活動計画について説明して頂きました。

<インターアクト委員会>

インターアクトは、12歳から18歳を対象としたクラブであり、2820地区には5クラブしかありませんが、これは全国でも最下位となっております。また、例年行われております「韓国研修」は、諸事情により昨年は沖縄で行われましたが、今年も同じく沖縄で7月29日～8月1日の予定で行われます。

研修内容は、インターアクトがある5つの高校生より現在の活動状況について、パワーポイント等を使って説明して頂きました。また、今年の年次大会は「キリスト教学園高等学校」で行われるとのことでした。皆さん、高校生ながらも、しっかりとした発表で、自分が高校生の時はどうだったかな?と、とても関心致しました。



<ローターアクト委員会>

ローターアクトには3つの目的があり、1つはリーダーシップの自己勉強、2つ目は全国にまたがる友人関係、そして3つ目が、「将来のロータリアンの育成」であり、特にこの3つ目が大切であります。これにより各クラブの会員増強につながります。

現在、ローターアクトは9クラブしかなく、合計で64名となっております。うち、笠間RCは休会となっており、真壁RCはご存知の通り、我が下館RACと合同で活動をしているという状況ですので、一人でも多くの紹介をお願い致します。

特に、来年度は「全国ローターアクト研修会」が水戸で行われます。全国から多くのローターアクトおよびロータリアンがいらっしゃいますが、それらをわずか64名で賄わなければなりませんので、それまでに一人でも多くのメンバーを増やして頂きたいとのことでした。

そしてその後、ローターアクトの具体的な活動報告として、2820地区の代表であります、我が下館RACの大河原君よりご説明を頂きました。中でも、アクトやっていて良かった点として、「人前でのスピーチが上手になった」という意見がありました。これは、ビジネスの世界においてはとても重要なことであり、人との会話を上手に出来れば当然、営業活動も上手にできますので、特に若い彼らにとりましてはとても大きな財産であると思います。

アクトのメンバーは少ししかいないため、入会してすぐに幹事、そして2、3年で会長という方がたくさんいます。最初は会長挨拶もシドロモドロだったりしている方でも、半年もすると、立派に挨拶ができるようになっております。それだけ、ローターアクトでの活動は有意義であると思われれます。

そういった青少年を育成していくのが、この「青少年奉仕」であり、その奉仕を行うのが、我々ロータリアンの務めであると思います。

ですので、是非一人でも多くのアクトメンバーをご紹介頂き、彼らを積極的に支援して頂きたいと思えます。

<ライラ委員会>

ライラは、14歳から30歳の若者を対象とした、スキルと人格を養い奉仕、高い道徳的規準、平和といったロータリーの価値観と活動目標を学び、未来を担う青少年の成長を願うプログラムとなっております。

簡単に言いますと、地元の若者に、地域の良きリーダーとなってもらうために、そのキッカケを提供するのが、このライラプログラムであります。

今年、平成28年10月15日(土)・16日(日)の2日間に渡って、茨城県立さしま少年自然の家で行われます。内容的には、「語ってみよう、夢とリーダーシップ」をテーマとして、日本マネジメントケアリスト協会理事長の浅井浩一先生の基調講演を中心に、各種ワークショップを行うなど、普段体験できないようなプログラムとなっております。

神山幹事も、地区の青少年奉仕委員会の中でも、この「ライラ委員」として、出向しておりますので、是非、一人でも多くの若者およびメンバーのご参加をお願い致します。

<青少年交換委員会>

「青少年交換」は、国際理解と国際親善を推進するという趣旨のもと、今から約45年前の1972年に、RIで決議されました。具体的内容は、国外へ留学生を派遣すると同時に、その国からの留学生を受け入れるというものです。この留学生はロータリアンの子弟に限らず、どなたでも対象となります。

この研究会に先立ちまして、ちょうどこの7月にアウトバウンドから帰ってきた3人の留学生をお招きして、その経験や感想など、パワーポイントやビデオを使って説明して頂きました。3人とも「親善大使」としての役割を担っておりますので、日本の文化や伝統などを紹介すると同時に、その国の言葉や文化を勉強するという使命を帯びて海外留学することになります。3人とも、このプログラムに大変感激し、ホストとなられましたロータリークラブに感謝するとともに、「他にもこのような機会があれば、是非参加させて頂き、その国の言語だけでなく、他の国の言語も勉強してみたい」と言っていました。

続いて、帰ってきた3人と入れ替えに、やはり同じくアメリカ・タイ・フランスへ留学する3人の高校生の抱負などを語っていただきました。

その後、昨年に短期交換に行ってきた高校生のお話を聞きました。短期交換は友好地区であります3350地区(タイのバンコクを中心とした地区)に、8日間という短期間で行う交換プログラムです。本年も12月下旬を予定しているという事です。

最後に、インバウンド、つまり交換の受け入



れについての説明がありました。

今年は、アメリカからの生徒を水戸RCがホストクラブとなりまして、キリスト教学園高校に1人、タイからは水戸西RCがホストクラブとなりまして、常盤大学附属高校に1人、そしてフランスからは日立港RCがホストクラブとなりまして、やはりキリスト教学園高校に1人と、合計3人の受け入れを予定しているとのことでした。

実は、この受け入れがなかなか難しいとのことでした。受け入れ先が決まらないというのが現実だそうです。ですから、1クラブでの受け入れが難しければ区内での受け入れ、区内でも難しければ地区内での受け入れも視野に入れて検討していくとのことでした。

佐藤昭 米山記念奨学委員長

みなさん御存知のとおり、この奨学会は日本に在留している外国人学生に対し、ロータリアンの寄付を財源として支援する民間の奨学団体です。収益事業は行っておりませんが、理事会、評議会等、管理費は資産運用益でまかなっており、普通寄付と特別寄付があります。又米山表彰制度は、個人が10～300万円法人が5～100万円で税制優遇の処遇が受けられます。

奨学制度には国内応募と海外応募の2種類があり、国内応募は指定校推薦で採用され、海外応募は海外応募者対象奨学金と海外学友会推薦奨学金とがあり2年の支援を行っており、採用人数は730～750名位で世話クラブは744クラブというのが現状です。

奨学生の卒業後の職業は①教育関係②一般企業③研究所関係となっており、国別の滞在は①中国②日本③韓国の順になっております。

スマイルBOX 外山 壽彦 委員

会員誕生 新井和雄・小林一彦・鈴木健一・鈴木光則さん

▶早瀬浩一さん 堀江青少年奉仕委員長、佐藤米山奨学委員長、研究会報告よろしくお願ひします。

▶日向野陽さん この度、皆様方には大変ご心配を頂き有難うございました。また力強い励ましの言葉、過分なるお見舞等を頂戴しました事、心から感謝申し上げます。

▶加藤昌美さん 日向野陽会員お帰りなさい。大変嬉しいです。各委員会研究会報告ご苦労さまです。

▶小林一彦さん 研究会報告 堀江さん、佐藤さん御苦労様です。

日向野さん久し振りの例会出席、元気な姿を拝見して安心しました。これからも気をつけて下さい。

▶関谷 徹さん 今月もニューモラルを配布させていただきます。

▶鈴木光則さん 日向野さんの元気な姿を拝見して、安心しています。

▶永盛 武さん 佐藤さん、米山奨学記念委員会の地区の報告ご苦労様です。

▶永井啓一さん 堀江委員長、佐藤委員長委員会報告ご苦労様です。宜しくお願ひします。

▶堀江 勤さん 本日、青少年奉仕の研究会報告をさせていただきます。

佐藤委員長、米山奨学の研究会報告宜しくお願ひ致します。

▶鈴木健一さん 研究会報告 青少年奉仕 堀江さん、米山奨学 佐藤さん宜しくお願ひします。

誕生日です。62才になりました。宜しくお願ひします。

▶佐藤 昭さん 米山記念奨学委員会の報告をします。よろしくお願ひ致します。

▶岩崎晴男さん 日向野陽さんお久し振りです。

▶潮田武彦さん 堀江さん、佐藤さん研究会報告よろしくお願ひします。

▶馬場 保さん 堀江さん、佐藤さん研究会報告よろしくお願ひ致します。

本日の合計 40,000円 累計 220,000円

出席報告 黒沢 昌之 委員長

会員数	出席	欠席	病欠	免除
32	19	10	0	3

■メイクアップ (敬称略)

月日	メイクアップ場所・出席者
9月30日	会長会議 早瀬浩一・新井和雄・永盛 武
10月3日	赤い羽根共同募金活動 早瀬浩一・加藤昌美・小林一彦 百目鬼博行・鈴木健一・外山壽彦 小野博史・潮田武彦・馬場 保 長島明伸・島田 茂

※発表や報告をされた方は、発表内容をデータ又は紙にて会報・広報委員会までご提出ください。ご協力の程よろしくお願ひいたします。